

平成26年度第3回移動市長室会議録

(平成26年6月26日)

1 日 時：平成26年6月26日（木曜日）10時～11時45分

2 場 所：三地区公民館（中央・栄町・昭和共同利用施設）

3 出席者：

『中央区』

田原区長、中央区 など（12人）

『栄町区』

宮澤区長、栄町区 など（5人）

『昭和区』

廣瀬区長、昭和区 など（5人）

『筑紫野市』

藤田市長、北橋総務部長、熊手建設部長、森総務課長、宗貞戦略企画課長、
檜木秘書広報課長、濱崎総務担当係長、野坂広報広聴担当係長、高木総務課主任、
松隈総務課主任、末吉秘書広報課主任

4 内 容：団体の現状と課題などについての懇談

○（事務局） ただいまから、平成26年度第3回移動市長室を始めさせていただきます。

本日の移動市長室は、お手元の次第のとおりに進めさせていただきます。この後、藤田市長の挨拶、廣瀬昭和区長の御挨拶、出席者の自己紹介、三地区の活動報告、要望、それに対する回答、その他意見交換、それから、三地区に関係する平成26年度の市の主な施策概要の説明をさせていただきます。活動報告は、本日のテーマである三地区公民館合同事業についてお話をいただきます。

本日の懇談内容は、会議録を作成し、市民の方に公表をさせていただきます。お撮りした写真は、市の広報誌やホームページに掲載をさせていただきます。

では、藤田市長が皆様に御挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 皆さん、おはようございます。本日は、平成26年度になり第3回目の移動市長室ですが、通算しますと3年余りで第35回目となるわけでございます。今回は、中央区・栄町区・昭和区の皆様と懇談させていただくことになり、廣瀬区長、宮澤区長、田原区長の三区長をはじめ、三地区の皆様におかれましては、移動市長室の開催にご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年度からの移動市長室では、特色のある取り組みなどを行っていらっしゃる地域の方のお話をお伺いして議論を深め、市政に生かしていくこと、また、市民の皆様方に市政を身近に感じていただくことを目的に、行政区での開催に力を入れています。

三地区は行政区の枠を超え、中央・栄町・昭和共同利用施設、いわゆる三地区公民館を中心として、防災また防犯などの活動を行っているとのことですが、住民にとって一番身近で頼れる行政区や自治会が連携を取り、活動されていることを心強く感じます。

現在、市では新たなコミュニティ構築に向けた取り組みを、各地区の皆様と一緒に進めており、そのためには行政区を越えての相互の協力が不可欠となります。自助、共助社会づくりは、まさに皆様がどのように活動されているかということが、大きなヒントとなることに間違いなく、本日は活動について説明と課題などをお聞きしながら懇談をさせていただきますので、最後までよろしくお願いを申し上げ、私の挨拶と代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

○（事務局） 続きまして、廣瀬区長、よろしくお願いたします。

○（廣瀬昭和区長） 本日は、三地区公民館によろこそおいでくださいまして、ありがとうございます。私は中央区、栄町区、昭和区、三地区の代表館長としてお世話させていただいております昭和区の廣瀬でございます。

三地区の概要ですが、世帯数は中央区が230世帯、栄町区が182世帯、昭和区が193世帯、三地区共同施設をつくっていただき、28年ばかりとなっております。

この地区は、2つの河川を持っております。高尾川、鷲田川の氾濫による冠水、浸水被害が起こっております。毎年のように繰り返される被害に対しまして、先輩諸氏に河川改良要望活動の実績がございました。最近の集中豪雨に際しては、今までに経験のしたことのない雨が降ります。上流地区の山間部の開発、田畑や空き地が少なくなり、水とめとなっていた箇所が急速に濁流となり、一瞬にして下流部分である我が地域に冠水被害をもたらし、家屋、自動車の被害が続出しております。梅雨時期になると、毎年のように押し寄せてくる問題です。

三地区としましては、三地区自主防災会を平成21年4月に設立しました。地元の協力としては、災害時緊急出動準備会を開催し、水道橋、田代橋付近の道路冠水による進入通行止め表示板を設置し、区内冠水による自動車移動の呼びかけ対策を講じてまいりました。

平成21年7月26日に九州北部を襲ったゲリラ豪雨により、二日市中心部が完全に水没し、大きな被害となりました。この被害に対し、三地区自主防災会が緊急出動し、市役所また消防署などの応援をいただきながら、浸水被害を受けた家屋の後片づけ、道路ごみ、泥土の除去作業などを積極的に行いましたが、被害から半月以上を要しました。

この公民館のとなりの橋、昭和橋の欄干を越えた水を見て、今までに経験したことのない大被害だという高齢者の方々の驚異の声がありました。藤田市長におきましては、当時、県議会議員でございまして、早速相談いたしましたところ、期成会を立ち上げてはという御助言をいただき、林田区長会会長を中心とし期成会が結成され、今日に至っております。下流部分から上流部分ということで工事が進んでおりますが、いろいろと改善工事も進められ、深く感謝しております。

最後になりましたが、安心して暮らせる地域を目指して、三地区地元としまして惜しまず協力をしてまいりますので、今後ともよろしく御指導のほどお願いしたいと思います。

○（事務局） 廣瀬区長、どうもありがとうございました。

続きまして、出席者の自己紹介を行います。

まず、市から行います。司会進行を務めさせていただきます秘書広報課の檜木です。

○（北橋総務部長） 4月より総務部長を務めさせていただいております北橋です。今、廣瀬区長の御挨拶の中にありました安全・安心のまちづくりの推進は、市にとっても大きな課題である重要な取り組みで、その所管もさせていただいております。自主防災会を立ち

上げられながら、地域の安全・安心に努めていただいていること、本当に感謝申し上げます。市としても、この梅雨時期を迎えて、市長を中心としながら態勢をとってまいりますので、どうぞ皆さんにおかれましても、引き続き御協力をお願いしたいと思っています。

- （熊手建設部長） 本年度4月から建設部長を拝命しました熊手です。
- （総務課） 総務課総務担当係長の濱崎です。
- （総務課） 総務課の高木です。
- （戦略企画課） 戦略企画課長の宗貞です。
- （総務課） 総務課長の森です。
- （事務局） 秘書広報課広報広聴担当係長の野坂です。
- （事務局） 秘書広報課の末吉です。
- （総務課） 総務課の松隈です。
- （事務局） 続きまして、三地区の皆様、よろしく願いいたします。
- （田原中央区長） 中央区区長の田原です。
- （中央区） 中央区の副区長をしております花田幸雄です。家業は、お仏壇のよーかどうです。
- （中央区） 中央区公民館主事をさせていただいております三浦です。
- （中央区） 中央区のゲンキクラブ会長を仰せつかっております大田です。
- （中央区） 三地区の民生委員・児童委員を仰せつかっております堀です。家業は、時計・宝石・眼鏡のヒラヤマです。各区の福祉委員さんがいらっしゃいますので、非常に助かっております。
- （中央区） 中央区の福祉委員をしております境です。
- （中央区） 防犯・防災会を担当させていただいている松原です。
- （中央区） 防犯・防災会の田原です。
- （中央区） 中央区子ども会育成会の渡辺です。
- （中央区） 中央区子ども会育成会会計を担当しております田原です。また中央区の会計も兼任しております。
- （中央区） 中央区の子ども会にお世話になっております中森です。
- （中央区） 今年度から公民館の管理をさせていただいております花田です。店は、中央でお仏壇のよーかどうをしております。
- （宮澤栄町区長） 栄町区の区長の宮澤です。平成21年のゲリラ豪雨、その他に災害も

ありましたが、私の行政区は、何の被害もありませんでした。ですけど、災害は、いつ、どこに、どのようにしてやってくるかわかりません。「備えあれば憂いなし」ということわざがあります。そのためにも、今後、少しでも三地区自主防災・防犯会に寄与していくように頑張っていきますので、皆様、よろしく願いいたします。

- （栄町区） 栄町区の赤司です。
- （栄町区） 栄町区の公民館主事をしております大城です。
- （栄町区） 栄町区の会計をしております井上です。父の代から息子まで三代、井上塾をやっております。
- （栄町区） J R 二日市駅前不動産の仕事をしております砥上です。
- （廣瀬昭和区長） 昭和区の区長をしております廣瀬です。
- （昭和区） 昭和区の公民館主事と、昭和区の65以上の会、昭寿会の会長をしております福地です。
- （昭和区） 前の昭寿会の会長をしておりました吉田です。
- （昭和区） 昭和区の福祉委員をしております福地です。一昨年、いきいきサロンを立ち上げております。
- （昭和区） 昭寿会、老人会の会計をしております河村弘子です。
- （事務局） 皆さん、ありがとうございました。次は、三地区公民館の合同事業ということで、進行をお願いします。
- （昭和区） 中央区と栄町区と昭和区、三地区合同活動ということですので、合同で活動している三地区自主防災避難訓練について写真を見ながら御報告します。私、昭和区の公民館主事とここの防火管理者をやっています福地です。

これは、消火訓練です。その避難のフローチャートをつくりました。訓練ですので、まず、現場の確認をして、通報と初期消火と避難誘導の3つに分かれて、そして、縦のラインで搬送をしたり、情報伝達をしたり、人員の確保をしていきます。最終的に、避難人数の確認、そして、全員避難したかどうかということを確認して、訓練終了ということです。訓練実施検証に重きを置いています。なぜかといいますと、次回訓練への方針、今回訓練した中で、どういうところがよかったか、どういうところが悪かったかということ、最終的に検証するのが一番で、訓練実施検証を行っております。

これは、三地区の避難経路図です。まず、三地区公民館がございまして、昭和区の場合は、ここが一次避難場所になっています。中央区は、ふれあい広場で集まっていただいて、公

民館に集合。栄町区のほうはライオンズマンションに集まっていただいて、人数の確認等を行い、最終的に公民館に集まるというような経路をつくっております。昨年、一昨年は、ここから第2次避難場所が二日市コミセンでしたが、今度、二日市小学校に移動になっておりますので、第2次避難場所は二日市小学校ということになります。

今年は、ごみゼロ運動を6月8日に行いましたが、まず自分の自宅からその周辺のごみ集めをしていただいて、公民館へ行っていただく。そして、公民館の内外、外回り、草取りとかを昭和区が担当でやっております。これは、公民館の窓なんですけど、これも、相当ほこりで汚れますので、ここは栄町区の担当ということで、水で洗っていただいたり、外回りをしていただいています。これは、二日市八幡宮さんの歩道橋です。昭和区の担当で、階段の掃除と危険なところがないかという点検です。それと、中央区は館内の部屋の清掃ということを担当しております。これは、非常にかわかったもんですので、写真を撮りました。この子たちは、ごみをとっているわけでも何でもありません。しゃがんで何をとっているのかとのぞいたんですが、これはダンゴムシ。これも町内の一つのごみゼロ運動に参加した子供たちです。

続きまして、これが非常食ですが、アルファ米といいまして、公民館の調理室でつくっていただきました。まず、米と具材をまぜて、お湯を入れて、一旦口を閉じて15分間蒸らすというぐあいに、非常に簡単なアルファ米です。そして、蒸らした後はかきまぜて盛りつけ、それを配るという形です。これが、パック詰めしたアルファ米です。大変おいしかったです。ほんの10分か20分でできたということで、非常食っていうのは非常にいいなと、おはしもつき、パックもつき、輪ゴムまでついていました。すぐでき上がります。

避難訓練ということで、各町別に受付をつくりまして、人数の確認、何人来たかということを確認とりました。中央区が38名、栄町区が26名、昭和区が37名と、100名を超した避難訓練になっております。この後、消防署から来ていただいてAEDの説明会をしました。AEDの説明を熱心に聞いております。20分から30分やっていただきました。質問もたくさんあり、消防署の方も非常に親切にAEDの大切さ、人の命の大切さを教えていただきました。実際、誰か体験してみないかという話があって、子供たちを一番乗りに体験させていただきました。一生懸命胸を押さえて、呼吸をやって、AEDの実験の体験、これも人の命の大切さというのを子供たちが感じたんじゃないかなと思っております。

これが、アルファ米を作ったスタッフの一部です。このほかにまだまだたくさんのスタ

ップ、お手伝いしていただいた方がいらっしゃいます。ほっとしたスタッフの笑顔です。ああ、やったという気持ちで、これで全部終わってはないんですけども、何かやったなという気持ちで最後終わりました。

続いて、これは2年ほど前にやりました避難訓練の風景で、これを報告させていただきます。三地区自主防災会が設立して初めての訓練でした。初めてつくられまして、市から補助金をいただきました。自主防災会の資機材のリストをつくって、リヤカー1台、担架2台、車椅子1台、ロープが3とか、警笛が20、ハンドマイク、ヘルメット、一輪車、あとバールとか、救急薬品一式を取りそろえております。防災倉庫に整理し、置いてあります。そして、栄町の公民館館長の宮澤さんに月に1回点検をやっていただいて、用具の不足がないかを確認をしていただいています。

次は、第1次避難所、ここの公民館です。駐車場に集まっていただいて、三町内の点呼を終わらしまして、ここから歩いて二日市コミセンまで移動しました。これは、道具等確認した上、自分の持ち場で用具を持ち出して、次の行動に入ります。点呼後、各町内別に分かれて第2次避難所、二日市コミュニティセンターへ移動しているところです。それで二日市コミセンに入ります。コミセンの入り口で、全員の点呼確認をし、もとの第1次避難所へまた歩いて戻ってまいります。そして、最後の行程ですが、ここで消火器の訓練です。これは水消火器なんですけど、各町内3人程度、実際に体験していただきました。訓練の終了後、非常食の乾パンとお茶を参加者全員に配りました。三地区自主防災会で、そのとき何ができるか、みんなで考えて体験しましょうと、まさかという災害に備えて実施した訓練も無事終わりました。

それで、私の後で発表があると思いますが、夜間パトロール隊の実績、そして三地区住民に対する防災意識の普及啓発を図り、安心・安全なまちづくりの推進・普及啓発を図ること、自主防災組織による避難活動の強化並びに災害の要支援者の避難支援などを継続することを繰り返し繰り返しやるということで、昨年10月、筑紫地区安全・安心まちづくり推進協議会より表彰状をいただきました。私が会長さんに成りかわりまして、表彰状を読み上げたいと思います。

表彰状 三地区自主防災会殿 貴団体は、筑紫地区の安全安心まちづくりに深い理解を示され、犯罪、交通事故及び火災などを減少させる活動に多大なる貢献をされました。その功労は特に顕著でありますので、ここに表彰します。平成25年10月16日 筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会長 武末茂喜

以上、表彰状をいただきましたことを報告しまして、私の発表とさせていただきます。
御清聴ありがとうございました。

○（田原中央区長） では、次に、登下校の見守りたいについて説明します。

子供たちと朝の挨拶から始まります。私もすっかり子供たちの人気者になりまして、朝、二日市八幡宮の信号のところに立つのが楽しみになっております。

これは、中学生が自転車で通学している様子です。雨の日はとても危険で、私も気を使います。幅員がないので、車が通りますと、自転車と交差して、その横を小学生が通るので、とてもこの道が危険だと思っております。市役所入口の信号のほうから、天拝坂、杉塚、塔原の子供たちが百七、八十名通ります。その間を小学生が通っていますので、とても危険だと思うときがもう毎日あります。

これは、雨の日の様子です。このときは、たまたま車が通っていませんでしたが、隅のほうを小学生が通学しております。これも、自転車と車との交差です。雨の日は、本当に危険だと思っております。

こちらは、栄町区長の宮澤区長と奥様が行っている下校時の見守りたいの様子です。

次は、夜間パトロールのほうに行きたいと思います。男性2人と女性が3人で、夜間パトロールをしております。中央通り等を3地区で、合同でパトロールしている様子です。第2・第4金曜日夜間パトロール、夏期一斉パトロール、冬期一斉パトロールを皆さんで協力し合って行っております。以上でございます。

○（宮澤栄町区長） この写真は、三地区の全員の方が写っております。車椅子のこの方は初めて敬老会に出ました。そして、非常に楽しかったということで、来年もぜひ呼んでくれと言われまして、もう予約を受け付けました。主催者側としては、こういうことは本当にやりがいもあるし、ありがたいなと思いました。来年は、もっといい会にしていきたいと思えます。

この方は、敬老会で十数回、祝舞を踊ってくれております。栄町の祝組の名取という紹介で始まっております。この方は、昔は美人で非常に優しかったんですが、今は、実はこの方は私の女房です。去年は体調不良でしたので、踊りたくないと言ったんですけども、区長命令で無理やり踊っていただきました。非常に感謝しています。

中央通りの美人3人が乾杯しています。女子会でもこれから始まるんじゃないかなというような雰囲気ですね。

中央区の子供さんたちのソーラン節です。これは、今回初めての試みです。とても元気

に楽しく踊っています。子供は町内の宝物です。皆さんで立派な大人に育っていくように、頑張っていたきたいと思います。

昭和区の公民館主事の福地さんのマジックショーです。この出し物も、今回初めての出し物です。今回初めての出し物が3つあり、3つ目は、ビンゴゲームです。写真には載っていないんですけど、非常に好評でした。こうやって改めて福地さんを見ますと、シルクハットに燕尾服がとても似合っていて、こんな趣味があったのかと感心しております。

福地さんのマジックを見ている人もおりますね。まねしている人もいます。皆さん、楽しそうですね。昭和区の御婦人方が何か関心したような、またちょっと応援しているような、さすが公民館主事さんのマジックだなというような顔で、ほほえましい光景です。

つたない説明でしたが、最後まで聞いてくださいます、ありがとうございます。御清聴ありがとうございました。

- （事務局） 3名の皆さん、どうもありがとうございました。わかりやすく御丁寧に、三地区の合同防災・防犯訓練、登下校見守りたい、夜間防犯パトロール、最後に三地区合同敬老会について御説明をいただきました。せっかくですので、幾つか教えていただきたいことがございます。

まず、合同防災・防犯訓練の福地主事さん、100人以上の住民の方が参加されたということですが、参加された住民の皆さんの反応はいかがでしたか。それと、訓練以外に、例えば防災マップをつくってあるとか、災害時等要援護者の支援制度に取り組んであるとか、何か別の取り組みもなさってあれば、その辺も教えていただけますでしょうか。

- （昭和区） まず、福祉委員からの情報で、情報はとるんですけど、まだマップについてはできていないんです。昭和区は非常に複雑で、ほとんどが集合住宅、または外から入っているお店の方ということで、非常に出入りが多いということで、まだマップまではできていないんですが、最終的にはマップまでつくって、ここにはこういう方がいらっしゃるというのをつくっていききたいなとは思っています。

それと、防災訓練は、皆さん、楽しくやっています。本当の災害じゃないってこともあるんですけど、やったら何かもらえるっていう気持ちもあるでしょうし、何かしたら楽しい、いろんな人と会えるということで、防災訓練もしながら、やはりコミュニケーションを図っていききたいなと思います。

- （事務局） 続いて、登下校見守りたいの御説明をいただいた田原区長、お話の中で、人気者になってあるとおっしゃっていました。それで、毎日交差点の一番重要なところに立

っていただいておりますけども、毎日どういった点に気をつけて立ち番なさっているのでしょうか。それと、楽しいですよというふうにおっしゃったんですけども、具体的にどういった点が楽しみになっているのでしょうか。

○（田原中央区長） まず、子供たちが挨拶がすごくできるようになったんです。私もあそこに立ち始めてから2年が過ぎました。初めのほうは、子供たちの挨拶の声は小さかったんですけど、最近は大きな声で「おはようございます」って言うし、そして、ハイタッチをしていくんです。1年生は特にタッチして「行ってきます」って言うってくれるんで、とてもうれしく思っております。最近は、新学期が始まりまして、上野教育長が立っていただいている、うれしく思っております。そして、中央区の子供じゃなくて、本町区から通ってくる子のほうが多いんです。うちの家を尋ねてきてくれて「遊びに来ました」って言って、女の子が3人遊びに来たりして、本当私もうれしく思っております。

苦勞の点は、やはりいろんな方をお願いして、立っていただきたいなと思うのですが、何か自分が行かないと気が済まないというような感じが最近はしております。それから、私が立てない日もあるんです。区長会の用事があったりとか、それとか広報紙の配布のときは時間が足りないので行けないんですけど、子供たちが「今日はおばちゃんを立てないね」って言って通っているそうです。

○（事務局） 最後に、合同敬老会の御説明いただきました栄町区の宮澤区長、敬老会は毎年行われることだと思いますけど、去年は新しい催しをして、ビンゴゲームやマジックなどをされたということですが、毎回、敬老会の中で盛り上げるために工夫なされてある点があれば、ぜひ教えてください。

○（宮澤栄町区長） 3つの試みということで、子供のソーラン節、マジック、ビンゴゲームとあったんですけど、その前は、どこの行政区でもやっているような祝舞とか挨拶とかフラダンスなどがありました。三区長で集まったときに、中央区から提案があり、それで、試みとして昨年やりました。これからも、恐らく今年も同じものではないとは思いますが。

ただ、敬老会の祝賀会ですので、余り砕け過ぎちゃってもいけないので、祝舞を最初やりまして、また祝辞とか、敬老会としての厳肅な気分は必要だと思います。それから後は、もう砕けて、ああ楽しかったなって一日過ごせたらいいなという気持ちは持っています。今年の敬老会を参考にして、何かちょっと試みを考えてみたいと思っております。

○（事務局） どうもありがとうございました。三地区公民館の合同事業についてお話をいただきました。皆さん方がそれぞれの事業におきまして、それぞれの連帯を大切にされま

して、仲よく積極的に取り組んであるという様子がよくわかることができました。

次は、要望についてに移らせていただきます。一つが、二日市小学校児童並びに二日市中学校生徒の通学路における安全の確保についてということ、もう一つが、二日市中央通り商店街周辺道路の整備についてです。

最初に、田原区長からよろしく申し上げます。

- （田原中央区長） 昨年度は、長年の懸念でありました中央通り商店街の道路改修をしていただき、商店街の方々だけではなく、周辺住民の方々も大変喜んでおられます。ありがとうございました。現在、三地区関連で、市当局にお願いしております主な事項であり、要望書を提出しています、二日市小学校児童並びに二日市中学校生徒の通学路における確保について、私から説明させていただきます。

二日市小学校児童並びに二日市中学校生徒の通学路ですが、通学時間に進入する車両と両校の児童・生徒が、幅員4メートルの道路を入りまじって利用して、児童・生徒の安全確保は極めて困難な状況にあります。当該道路を利用する児童・生徒の概数は、二日市小学校へ通学する児童およそ100名、二日市中学校へ徒歩通学する生徒78名、二日市中学生へ自転車通学する生徒は205名で、関係する地域の12行政区の代表、二日市中学校、二日市小学校及び天拝小学校の関係者で検討を重ねた結果、こうした状況を早急に改善すべきとして、要望を提出することになりました。

その道路は、たばこ店の前から交差点方面への道路です。非常に狭くて、ここを車が一方通行で進入してきて、先ほども子供たちの様子を見られたかと思いますが、雨が降ったときとかはもう非常に危険ですので、そういう要望書を出しましたけれども、お尋ねしたいのは、これらの要望書によるお願いの仕方はこれでよかったのかということと、その見通しなどについてお話しいただければと思っております。

- （事務局） 次は、要望事項2のほうです。
- （中央区） 道路拡張の件ですけど、その前に、中央通り商店街の道路、もう前からタイヤが割れたりして滑ったり、危険ということで、何とか改装していただきたいと申し上げていたんですけども、昨年、きれいになりました。皆さんから、見通しもよくなったねとか、明るくなったねとか、大変好評をいただいております。市民を初め、商店街、また御来店のお客様方、大変喜ばれておりますので、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

次に、今日の要望書は、商店街活性化という意味におきましても、いろいろ下成市議会

議員を中心に、区長、それと商店街の理事長等で話し合いをしまして、やはり周辺の道路、これがやっぱり整備されると随分また違って来るだろうなという感じです。

それで、お宮のほうから突き当たり、市が持つてある広場の西側になるんですけど、約400メートルございます。その道路がちょっと狭いんです。結構、車が入り出ております、タクシーとか普通の車もです。そうしますと、写真を撮っているんですけど、人がいっぱいいて危険性もあるし、ここを広くしていただきますと、広場のバックヤードとしても使い勝手もできるし、もっと活性化に役立つんじゃないかと思っておりますので、ぜひこの道路を広くしていただきたいなと思っております。

それと、122号線から来る直進の道路です。これも幅1.5メートルで、狭いんです。少し広くしていただくと、通り勝手がよくなりまして、迂回路としても使えるんじゃないかと思っておりますので、ぜひともこの道路を広くしていただきたいなと思っております。

そのためには、地主さんの御協力がないと、こういった拡張とかはできませんので、そういったことで、またお話し合いさせていただきたいと思っております。以上、よろしくお願いたします。

- （北橋総務部長） 二日市小学校の児童と二日市中学校の生徒の通学路の安全確保についての御要望の件でございますけど、私から回答させていただきたいと思っております。市としても、要望いただいたこの件について、3日間ですが、現地確認をさせていただきましたので、その内容からまず御報告させていただいて、その後、要望の回答という形をとらせていただきます。

調査に行きましたのは、6月19日、秘書広報課の課長以下、職員が現地を見ております。24日は、市長がみずから立たれまして、調査いただいております。それから、25日には、私と建設部長、それから安全安心課、維持管理課の課長以下職員で立たせていただきました。時間帯は7時30分から8時20分の間で、3日間とも調査をさせていただきましたところ。19日の状況を御披露して、報告にかえさせていただきたいと思っておりますが、まず二日市小学校の児童102人は、田原区長が指導されている場所から歩道橋に上がって、そして、トンネルを通過して小学校に通学しています。小学校に通学するときに、天拝坂のほうから来られる自転車と行き交うという状態が確かにあります。それから、二日市中学校の生徒ですが、94人が歩道を徒歩で渡って横断しており、160人は自転車で横断していました。自転車の中学生の指導でございますけれども、一方通行から出てくる車や人の邪魔にならないよう、交通指導の方から、交通誘導を兼ねて安全確保に

努めていただいているということがわかりました。また、信号機が変わるまでは、歩道をあけて、歩行者の通行の邪魔にならないようきちんと指導がなされておりました。改めまして、地元の区長、それから交通指導員、教職員、先ほど御紹介ありました教育長などの方々の御協力によって、子供たちの交通指導と見守りが本当に確保されていることを認識し、感謝いたしております。

前置きが長くなりましたが、今からが回答ですが、まず1点目の信号機の変更について、6月3日に筑紫野警察署と協議をいたしております。県道とほかの信号が幾つかあるんですが、これが隣の信号と連動しているということが一つあります。それと、交通渋滞の影響等が懸念されるということがあって、現在のところ、歩車分離式の信号機への変更はちょっと難しいという警察署の見解でありました。しかしながら、市としては、このような現状をやっぱり認識してもらいたいということから、6月18日、改めまして今年度の信号機改良要望箇所として、筑紫野警察署に要望書を提出させていただいております。

それから、2点目の市道龍頭・浦畑線への歩行者専用道路の設置についてということですが、一方通行の道の部分で、御承知のとおり、道路幅員が4メートルしかありません。通学時間帯には、歩行者、それから自転車、自動車が行き来しており、児童・生徒の安全面が危惧される場所です。これも6月10日、筑紫野警察署と協議を行わせていただいております。歩行者専用の路側線の幅は、大体70センチメートルから1メートルになるそうです。あわせまして、歩行者専用道路を設けた場合、道路交通法上、自転車はそこを乗ったまま通行できなく、押して通行することになります。すると、その歩行者を分離しますと、今でさえ4メートルしかないのが、さらに狭い中で、道路の中で車と自転車が行き来していて、非常に危険な状態も一方では生まれるということになります。

そういうことで、市としましては、この通学者の交通安全、これが第一だろうというふうに思っております。今後とも、地元の皆様と協議をしながら、改善策を模索してまいりたいと、子供の安全面に向けて努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

○（熊手建設部長） 続いて2点目の、5月16日に陳情書をいただきました二日市中央通り商店街周辺道路の改善につきましてということで、私、同席いたしまして、熱意ある陳情を受けたところであります。市長も一緒に受けております。

私、次田という隣の行政区に昔は住んでおりました。昭和、中央、栄町、このあたりはもう遊び場で、よく道等も存じておるつもりです。中央通り周辺は、古くから宿場町とし

てにぎわい、発展を続けてきたと思っております。そのため、狭く入り組んだ道路などが当時の面影を残しており、まだ本当に古い入り組んだ道路がたくさん残っておると考えております。

陳情に対する取り組みでございますけれども、要望事項に対し、課題や問題点を内部で整理させていただきました。市としましては、用地買収の協力など、事業への地元の合意が整いましたら、事業の事業費の確保など、積極的に対応する方針は持っております。そのため、5月16日の陳情時にも私どもがお願いしましたとおりですから、用地買収につきましては、御協力をいただくとともに、どのような道路が皆様のためになるのか、そのあたりの意思の統一、皆さんの要望の考え方をお示しいただいた上で、協議を進めてまいりたいと考えております。

- （中央区） 先ほど申しましたように、拡張になると、よそ様の土地を扱うわけでございますから、こちらの要望どおりストレートにはいかないと思っておりますけれども、何とか努力して、我々、地区の人間が、地主さんをお願いして、詰まった話になりますと、具体的な価格とか、そういったことになると我々ではできませんので、どうしてもやっぱり行政のほうで協力していただいて、そして進めていくということになるのかなと思っております。

それから、よろしかったら中町病院の横の広場の横に道路をつくっていただくと、ちょうど迂回できていいのかなと思っております。何とか皆さんの意に沿うように頑張りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

- （事務局） それでは、用意していただいております2点の要望事項はこれで終わらせていただきたいと思います。

その他、意見交換をこれから行います。藤田市長に直接聞いてみたいとか、あるいは直接意見を言ってみてみたいとかあれば、よろしく願いします。せっかくの機会ですので、どんな小さなことでも構いません。廣瀬区長、どうぞお願いいたします。

- （廣瀬昭和区長） 私は昭和町なんですけど、9組に武石よしのさんという方がいらっしゃいます。御年90歳になられ、地域の生き字引でおられるということ、しっかり頭もしておられます。私、いつも相談に行くわけなんですけど、手紙をもらってきておりますので、お読みさせていただきます。

昭和橋鷺田川の側でコーヒー店を営んでいる武石と申します。この地域におきましては、昭和の初めに国道3号線ができ、昭和橋がかけられました。当時は、車はほとんど通りません。こんな広い道路が必要なのかとびっくりしていた時代でございます。

それが、最近、毎年の雨期には水害状態に見舞われ、悩みの種となっています。現在の河川橋梁では対応できるはずがありません。平成21年集中豪雨のときは、昭和橋欄干を越える雨量でした。初めての経験です。3号線は冠水し、当時、民家の床上浸水、店舗床上の泥土で60センチぐらいたまり、洗い流すのに大変な作業でした。当時の防災会の皆さん方におきましては、大変お世話になりました。

また雨期がやってまいります。藤田市長さんにおかれましては、建設部に河川課を設立され、取り組みも前向きに進んでいくとお聞きしています。下流付近も順調に進んでいるとのことで、これから大事業になることでしょうか。藤田市政に感謝申し上げるとともに、これからも期待しております。私たちも、先祖から残していただいたこのまちで、安心して暮らせるまちづくりを子孫に引き継ぐ義務がございます。一刻も早く改良を望みます。武石よしの。以上でございます。

○（事務局） どうもありがとうございました。

○（藤田市長） 今、廣瀬区長の方から、高尾川・鷺田川の水害、特に昭和地区の件については、今武石さんのお手紙も拝見したところでございますが、私は県議にここから送っていただいて、その当初からこの高尾川は浸水がずっと続いておりまして、かれこれ考えますと、もう20年ぐらいこの話は続いていることなんです。

平成21年の水害を機に、廣瀬区長からのお話がありましたけども、地元で促進期成会をつくっていただいて、27行政区の区長さんたちがその期成会の役員になっていただいて、そして、地域のいろんな問題があるんですけど、それをみずから解決に向けて進めていただいたというのが、現在の高尾・鷺田の状況であろうと思いますが、一つには、高尾川と鷺田川が合流しているところ、あの地点で隅切りをしたんです。このことによって、やっぱり随分と水位が下がりました。今、市営河川の鷺田川をまっすぐストレートに直進して高尾川との合流点をスムーズに県営河川の鷺田川につなぐような事業をやっております。これにつきましても、促進期成会の皆さん方の力を借りながら、住宅供給公社の団地を買収、改修させていただいて、そこに今度の工事に関しまして11軒の方に御迷惑をかけるわけですけども、御協力をいただく形の中で、そこに既に代替地として、あるいはもう住宅を建てている、そういうふうな状況までになりました。あと一、二件の用地がまだ片づいておりません。そのことについて、今、一生懸命お願いをして用地買収を進めているところでございます。

これは、できれば県の県土整備部としましても、工事については極力予算を獲得しなが

ら平成30年まで、あとしばらくありますけども、それまでには完成をしないと、そういうふうな形ができますと、今お話がありましたように、昭和橋のほうも、市営河川の鷺田川は筑紫野市の管理河川でございます。これは、市としても改善を図るために、先ほどお話もありましたが、河川課を充実させてまいっております。豪雨災害は予測できないときもありますけども、なるだけそれに対応できる、自然災害に対応できる河川整備を今後も続けてまいりたい、そのように思っているところでございます。地元の皆さん方、この三地区の皆さん方に特に御迷惑をかけておりますけども、市としましても全力で改善に向けて進んでまいりますので、よろしく今後とも御協力をお願い申し上げたいと思います。

○（事務局） 藤田市長から進捗状況のお話がありましたけども、廣瀬区長、いかがでございますでしょうか。

○（廣瀬昭和区長） 私は、地元としまして、ここが下流部分で一番水溜めになるわけです。二日市地区の水は、全部が私らの地区に来るわけなんです。これは、重々わかっております。地元としましては、口ばかりで、頼むばかりじゃあいかなから、態度でやっぴり示さないかなよと、私らはいつもそれで話し合っているわけなんです。

もうじき大量の雨がまた降ると思います。これは、もう毎年のもので、覚悟はしておりますけど、本当、この雨が降るたびにもう恐怖なんです。水道橋にしましても、今、警報機をつけていただいておりますけど、雨の降り始めから水位だけを見てから、私らもなれっこになりまして、橋げたのあの80センチ、それからこれが50センチになりましたら、ああ、これはもう時間的にあと30分で水没するなっていうことも、そこまで体で感じ取るようになりました。もうとにかく、雨の降るのが、朝、昼、晩、いつ降るかわかりませんが、天気予報とにらめっこばかりしておって、夜間になりましたら、寝ていて本当寝られんような状態はもう毎年のことになっております。

こういう状態ですので、ひとつそこら辺を皆さん、お酌みいただいて、よろしく対応をまた、よろしくお願ひしたいと思っております。

○（事務局） 廣瀬区長から河川改修の再度のお願いがあったところでございますが、せっかくの機会でございます、ほかにございませんか。

○（栄町区） 私、栄町の赤司と申します。以前から田代会長と一緒に、JR二日市駅前の再開発の取り組みをしてきましたけども、頓挫しまして、非常に残念に思っております。今後、JR二日市駅前、どうやって活性化させていくかという問題ですけど、やはりJRの線路で分断されたような状況になっておりますので、今の計画されております駅前の広

場の整備、それから生活道路の線路の西と東をつなぐ計画も計画されておりますから、やっぱりあれができますと十分また状況が変わってくると思いますので、できるだけ早急に工事着工をお願いしたいなと思っています。JRの関係でのびのびになっているんじゃないかなと思いますけど、それができたら、駅前をどういうふうに活性していくかということで、市長にも田代会長とたびたびお願いをしたりしておりますが、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

それからもう一つは、私は元スーパーとかショッピングセンターをやっておった関係上、いろんなところを同業者を視察してまいりました。そのときから、ちょうど昭和60年代ですか、やはり今、花田さんがおっしゃったように中央通りの件の陳情、その時期から思っているんですけど、やはり中央通りの本線を主体にして、両サイドの引き込み道路、これがやはり一番重要になってくると思います。これがないために、中央通りが車の乗り入れが困難というようなこともありますし、両サイドから車が進入して、そして駐車場ができますと、中央通りも買い物しやすい。安心して買い物ができる状況になっていく。周辺に大型店がどんどんできておりますけれども、やはり今から人口、高齢化社会になってきますので、希望は捨てないで頑張ってもらいたいと思います。だから、両サイド、先ほど言われたように、お宮の横から入る道路、すれ違うのが危ないぐらい狭い道路です。それで、昭和町のところを突き当たりますと、もう両サイド見えないような状況なんです。これも、できたらひとつ改修できるなら、やっていただきたいなと思います。

市長によって随分違うと思いますが、藤田市長は、非常に行動力があって、結果が速やかに見えてきますので、ぜひ今後ともよろしくお願いしたいと思います。

○（藤田市長） 今、2点、赤司さんからお話がありましたけれども、特に夢さかえプロジェクトがありました。JR二日市駅前地区の区画整理、この進捗が止まっております。今、お話がありましたとおり次田大門線というJRの駅の西口から湯町のほうに来る道路を作っております。私が着任しましたときは、用地買収が45%ぐらいでしたが、もう今は99%用地買収終わりました、工事もずっと進んできていまして、西と東をつなぐ自由通路、これもJRに設計を今、発注をしております。でありますから、両サイドにエレベーターをつけて、4メートルぐらいの自由通路をつくる。自転車は、エレベーターで上がって通路を渡る、こういうふうな道路ができる。そういうふうなことになると、必然的に東のほうも整備していきたいと思っていますところです。

ただ、筑紫野市全体からしますと、西鉄天神大牟田線の筑紫駅西口の区画整理を今、行

っております。これも、ちょっと止まっていたんですけども、今、地権者皆さん方の御理解をいただきながら進めておりまして、これを平成28年度までに完成をさせたいと思っ
て進めております。これが終わりますと、大きな事業が一つ仕切りつきます。そうなりま
すと、JR二日市駅の東口の整備というような形で、順序立ててつくっていききたいなど、
このようなことを考えているところでございます。

それから、これは花田さんから陳情がありまして、もう熊手部長から答弁がありました
とおりでございますが、確かに中央通りが1本で、ましてや一方通行で、これで二日市中
央通りの商店街を活性化させるというのは、これは無理でございます。でありますけれど
も、お宮の裏のあの通りを、今おっしゃったとおり広げていくというのは、非常に難題で
あろうかと思っています。といいますのは、狭い故に、もう高層の建物が建っております。
これを広げるというのは難しいということがあります。でありますから、陳情を受けたと
きも、地元の地権者の皆さん方の御協力をいただくことができますれば、狭い道路ですか
ら、その狭隘道路の改善、改修、そういうふうな補助金あたりをとって、予算はつくりま
す。ですけど、協力が得られないということになると、なかなか進みませんのでよろしく
お願いしますということを申し上げたところでございます。

さらに六反から来ますと、昭和橋を渡って中央通りに入りまして、そして大賀酒屋さん
のどこからまた曲がって水道橋があります。その水道橋のかけかえもやらないと、高尾川
が完成しないんです。ですから、これはまた用地買収をさせてもらうようにしてありまし
て、あれは真っすぐすとんと向こうまで通るように計画を立てているところでございま
す。

色々、したいこと、やりたいことたくさんありまして、種はずっとまいてますけれども、
何せやっぱり地元の皆さん方の御協力というのが最大限必要でございますので、その点を
よろしくお願い申し上げ、協力をいただくことができれば、市としては事業はどんどん進
めていきたいと、このように思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○（事務局） 赤司元区長から、2点御提案をいただいております。JR駅前と取り付け道
路の件でございますけど、市長から最新の状況のお話があったとおりでございますして、そ
れで回答にかえさせていただきたいと思ひます。

○（中央区） 公園が周囲になくて、これは紫地区の紫公園と二日市北の二日市公園はあり
ますけれども、ちょっと距離があるのと踏切が近いってということで、なかなか低学年だけ
で遊びに行かせるのは保護者として不安があるかと思ひます。近くに子どもたちが行くよ
うな広場、公園があると、そこでまた地域の子どもと大人と触れ合うところが、場所があ

ってもいいかなって思っています。

- （藤田市長） 御要望、御意見として承って帰らせていただきますが、公園用地の確保というのが、この近辺、なかなか難しいところがあると思います。でありますけれども、今日の三地区の移動市長室の一つの要望としてお聞きして帰らせていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。
- （中央区） 中央区の大田です。広報に、年度初めにごみの出し方のチラシが来るんです。それで、25年のと比べたら何も変わってないですよ。これだったら、わざわざ25年とか26年とか入れなくて印刷してされたら、それでいいんじゃないかと。それは、市の印刷費から比べたらわずかなものでしょうけども、何かもったいないなど、こういう印刷、いろいろしているんじゃないかなと思ってですね。何か手は要るかもしれませんが、ちょっと知恵を絞られたら費用が幾らか減るんじゃないかなと思います。
- （事務局） 同じ記事が2年連続入っていたということですね。
- （中央区） みんなに配っておかれたら、それはもう文句言われなくていいかもしれないけど、これ、もったいないねと思って気づいたものですから、今、言わせてもらいました。
- （藤田市長） 大田さんの意見は、非常に貴重な意見だと思って、なるだけやっぱり無駄遣いはしないのがいいんですけど、おかげで筑紫野市は人口がやっぱり微増しているんです。そして、やっぱり転入、転出も伸びている、そうふうな形からしますと、その点は、無駄なようですけども、やっぱり年度を中心に広報としてさせていただかなくてはいけない部分というのも、大事なところであろうとも思っているんですが、注意をしていただいた他にも無駄なことがないかどうか、よく検討させていきたいと思っております。ありがとうございました。
- （中央区） 異動によっていらっしゃる人もありましようけど、何かでできるんじゃないかかなと思ひました。
- （藤田市長） ありがとうございます。
- （事務局） 市長から三地区に関係します平成26年度の筑紫野市の主な施策概要の説明をさせていただきます。
- （藤田市長） 平成26年度の一般予算ですけれども、まず、民生費ですが、子供や高齢者、障害者などの福祉に使われるもので、予算が40.8%を占めて、その額が約128億3,000万円です。
次に、公債費、これは市の借金を返済するもので、予算が約32億1,000万円、全

体の10.2%を占めています。借金をどんどん返しながら、健全経営に努めていきたいと、この努力は進めていきたいと思っております。

次に、土木費、これは道路や公園などの補修とか建設に使われる予算で、31億9,000万円、全体の10.1%です。

次に、総務費、行政の運営や戸籍、税金の徴収などに使われる予算で、30億8,000万円、全体の9.8%を占めています。

次に、教育費、教育や文化、スポーツなどに使われる予算で、29億6,000万円、全体の9.4%を占めています。この予算の中に、今年の夏、304教室に空調設備をします5億も含まれています。

次に、衛生費、健康診断や予防接種、ごみ処理などに使われ、予算が29億5,000万円、全体の9.4%です。

最後に、その他、議会や農業、商業、消防などに使われる予算で32億3,000万円、全体の10.3%で、一般予算の総額314億7,100万円となっているところです。これらを使いまして、市民の福祉向上はもちろんです、健全な明るい筑紫野市を進めていきたいと思っております。

三地区ですけれども、筑紫野市の中央から北側に位置しており、JR二日市駅や西鉄二日市駅から徒歩圏内の非常に交通の利便性の高い地域でして、かつては二日市は日田街道の宿場町として栄えてまいりました。宿場の特徴としましては、L字型の道筋が今の中央通りの商店街に残っておりまして、明治時代に入りますと、中央通りでは馬車鉄道が通っており、大正13年に現在の西鉄電車が開通するまで、天満宮までの道のりを行き来していました。

二日市八幡宮の神木であります大イチョウは、昭和59年に市の天然記念物に指定されました。この大イチョウには、皆さん御承知のとおり、島津勢が攻め入った際に、老婆が身を呈して伐採から守ったという逸話もございます。

JR二日市駅は、明治22年に開設され、現存する九州最古の鉄道駅です。喫茶店煉瓦屋の横から見えます煉瓦づくりのアーチ橋は、当時から残る建造物です。JR二日市駅前には、昭和15年に当時25歳で二日市駅長を務め、後に内閣総理になられた佐藤栄作氏の碑や、二日市駅開設に当たり私財を提供するなど誘致活動を推進し、まちの発展に努められた谷彦一氏の碑がございます。

このように、当地は近世の面影を現在に残しながら、住宅や商業の中心として栄えてき

たちであります。

これから、三地区に係る事業費を説明させていただきますが、最初に「JR二日市地区整備事業」で、予算額は3,829万2千円、JR二日市東西の駅舎、駅広場整備、西口の駐輪場の用地購入などを行っていきます。

次に、「鷺田川河川改修事業」、予算額504万2千円です。市営河川鷺田川の実施計画を作成するため、流下能力などの調査を実施しました。これは、鷺田川の改修につながる昭和橋あたりも入ってくる調査です。

次に、「中心市街地活性化事業補助金」、予算額150万円です。中心市街地活性化の具現化、具体化へ向けて活動を行っていただいているNPOほっと二日市に対して補助を行います。

次に、「防犯カメラ整備事業」、予算額200万円です。市内の性犯罪、バイク、自転車窃盗などの軽犯罪抑止のために防犯カメラを設置します。

次に、「小中学校非構造部材耐震化事業」、予算額1,414万6千円です。平成24年度に市内全小中学校の耐震化工事は全て完了をしましたが、避難経路の通路の阻害等の第2次災害を防ぐために、さらに耐震対策の検証を行っていくための予算です。

次に、先ほど申しました「小中学校空調設備整備事業」、予算額5億2,676万8千円です。平成26年度中に市内小中学校の空調設備を整備することにより、災害時の2次避難所の小中学校の機能強化、子供たちの健康管理と教育環境の改善を図っていきます。

次に、「子ども医療費支給事業」、予算額1,504万5千円で、疾病の早期発見と治療を促進するために、対象を乳幼児から小学校6年生までの児童に拡大をし、医療費の一部を助成していきます。

次に、高齢者支援事業で、福岡県の「見守りネットふくおか」を活用し、各家庭を訪問する機会が多い生活関連業者が、ひとり暮らしの高齢者などの異変を察知した場合に、市や警察へ通報するよう、見守りの活動に関する協定を提携しました。

そして、これは、中央区、栄町区、昭和区だけでなく、市全域に係ることで、筑紫野市では地域コミュニティの再編を進めているところです。市内を7つの区域に分けまして、それぞれのコミュニティセンターを拠点施設としながら、地域の中核となる自主組織をつくるということを今行っております。三地区の区長さんたちも一生懸命力を貸していただいているところです。この三地区につきましては、二日市コミュニティにエリアとして入るところでして、区長さんたちを初め、自治会の皆さん方にも、これからのまちづくり、

自助、共助、公助に対しての御協力をいただきますように、心からお願いを申し上げます。

簡単でございますが、三地区に関する事業について説明をさせていただきました。御清聴ありがとうございました。

○（事務局） 以上が、三地区に関係します平成26年度の市の主な施策概要でした。

それでは、終わりに、藤田市長が皆様方にお礼の御挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 三地区合同の自助、共助、公助、その営みを巧みに行っていただいておりますそのお話は今日の移動市長室の中でも、これからのコミュニティ自治を作っていく上で非常に参考になったところでございます。

今日の要望の中に通学路、交差点の改良等々につきましては、結論の出しきらない状況でして、私も1日だけ立たせてもらいました。ちょうど田原区長が鹿児島の方に区長研修に行っていらっしゃったんで今日はいらっしゃらないなと思いながら立っておりましたが、びっくりしましたのが、私は歩道橋の上に立っていたんです。小学生がずっと上がってくるのですが、それで階段を上がってきて、「おはようございます」と言ったら、ぱっと顔を見て「おはようございます」と言うのですよね。そして「行ってらっしゃい」と言ったら「いってきます」と言うんです。何とここの子どもは礼儀正しいんだなと思っていましたら、先程田原区長のお話を聞いて、ハイタッチまでして行っているということで、その指導が2年間も続いているということで、理解ができました。

私が市長職に就いて4年目に入りましたけれども、市の職員には「必ず現場をまず見なさい。そしてそこから自分の足で行って見て、そして住民の人の要望に応えるような回答をしなさい。」このようなことを言い続けてきました。473名、作業着を着て現場に出て、要望のあったことに耳を傾けて、そして帰ってきて仕事をしている。非常に機敏になり、スピード感が出てきたと私はこのように感じております。いろいろ今日のご要望の中に回答ができない部分もありましたけれども、また要望として承って帰ることとなりますけれども、ぜひ職員一丸となった市の行政の進め方をしっかりと続けて、10万2千の市民の皆さん方が住みたい、住み続けたい、そして子どもや孫に誇れるようなまちづくりをこれからも進めていきたいと思っているところでございます。

本当に今日は貴重な時間をこんなにたくさんの皆さん方が集まっていただいて、市に対してのありがたい御意見、御示唆をいただいたことを心から感謝申し上げ、さらにこの三地区が区長さんたちを中心にますます発展して良いまちになりますことを祈念申し上げまして、御挨拶に代えさせていただきます。本当に今日はありがとうございました。